

2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年11月10日

上場会社名 株式会社銀座山形屋 上場取引所 東
 コード番号 8215 URL <http://www.ginyama.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小口弘明
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 瀬戸山英児 TEL 03-6866-0276
 四半期報告書提出予定日 2022年11月11日 配当支払開始予定日—
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	1,657	12.4	△75	-	△38	-	△52	-
2022年3月期第2四半期	1,474	24.6	△214	-	△149	-	△159	-

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 △186百万円 (-%) 2022年3月期第2四半期 △220百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	△30.65	-
2022年3月期第2四半期	△92.23	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	4,008	2,034	50.8
2022年3月期	4,390	2,220	50.6

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 2,034百万円 2022年3月期 2,220百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	-	0.00	-	0.00	0.00
2023年3月期	-	0.00	-	-	-
2023年3月期（予想）	-	-	-	-	-

(注) 2023年3月期の配当については未定とさせていただきます。

3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,769	7.0	117	-	125	101.6	105	138.6	60.87

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 -社（社名）-、除外 -社（社名）-

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2023年3月期2 Q	1,804,471株	2022年3月期	1,804,471株
2023年3月期2 Q	79,405株	2022年3月期	79,405株
2023年3月期2 Q	1,725,067株	2022年3月期 2Q	1,725,146株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的である判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(重要な後発事象)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症のワクチン接種が進む中で、夏場に感染者数の増加がありました。行動制限が緩和される中で徐々に日常生活に戻る動きが見られました。一方、ウクライナ情勢や米国を中心としたインフレ懸念、円安進行など海外を起因とした物価上昇圧力が高まりました。

小売業界におきましては、行動制限の緩和を受けて、全般に消費活動が高まりました。当社を取り巻く環境も春先にフォーマルスーツの受注の増加など、これまでの消費抑制の反動が見られました。夏場にかけて新型コロナウイルス感染者数が増加する中で、一部地方において卸売部門におきまして展示会延期の動きが見られましたが、小売部門におきましては比較的順調に販売が推移しました。

このような経営環境の中、当社では店舗及び展示会におきまして細心の感染拡大防止策を図った上で、特に店舗ではWEB予約システムを本格的に活用することで、お客様の来店時にストレスの少ない時間を過ごしていただけるよう対応してまいりました。

また、大阪本町店の改装によるサルトリアプロメッサブランドを加えたフルブランド化やbref神田店を銀座山形屋神田店へ業態変更するなど、販売体制の見直しを行いました。

その結果、当四半期連結累計期間の実績といたしましては、売上高は16億5千7百万円(前年同期比12.4%増)となりました。オーダーメイドスーツの受注数量が前年同期比で18.6%増となり、縫製工場の生産活動に影響し受託縫製事業セグメントの売上高総利益率が3.8ポイント改善しました。販売費及び一般管理費は経費削減に努めた結果、経常損失は3千8百万円(前年同期は1億4千9百万円の経常損失)となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純損失は5千2百万円(前年同期は1億5千9百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失)となりました。

セグメントごとの業績は、次のとおりです。

小売事業

新型コロナウイルス感染症による行動制限が緩和され、お客様の消費行動が活発化したことにより、売上高は10億6百万円(前年同四半期比17.3%増)、営業損失1千9百万円(前年同四半期の営業損失7千9百万円)となりました。

卸売事業

小売事業同様、行動制限の緩和により期初は順調に推移しましたが、夏場にかけて新型コロナウイルス感染者の増加に伴い、地方を中心に一部展示会が延期・中止となった結果、売上高3億6千5百万円(前年同四半期比0.9%増)、営業損失3千万円(前年同四半期の営業損失4千5百万円)となりました。

受託縫製事業

小売事業同様、行動制限の緩和により、売上高9億1千6百万円(前年同四半期比15.9%増)、営業損失2千3百万円(前年同四半期の営業損失6千万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

財政状態は次のとおりであります。

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比較して3億8千2百万円減少し、40億8百万円となりました。

資産の部では、流動資産が前連結会計年度末と比較して2億7千2百万円減少しました。受取手形及び売掛金が前連結会計年度末と比較して減少したこと等によるものであります。

固定資産は前連結会計年度末と比較して1億9百万円減少しました。これは主に投資有価証券の時価の減少によるものであります。

負債の部では、負債合計が前連結会計年度末と比較して1億9千5百万円減少し、19億7千3百万円となりました。これは、主に季節要因による買掛金等の減少によるものであります。

純資産の部においては、主に親会社株主に帰属する四半期純損失5千2百万円を計上した結果、当第2四半期連結会計期間末の株主資本は20億8千8百万円となりました。

また、その他有価証券評価差額金は1億3千3百万円の減少でありました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年5月12日に公表いたしました2023年3月期の連結業績予想数値から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,491,896	1,315,861
受取手形及び売掛金	384,384	290,238
商品及び製品	106,436	128,644
仕掛品	19,766	22,360
原材料	91,464	84,043
その他	74,069	53,488
貸倒引当金	△2,304	△1,899
流動資産合計	2,165,713	1,892,738
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	104,512	114,313
その他(純額)	172,512	177,403
有形固定資産合計	277,025	291,717
無形固定資産		
その他	79,004	68,424
無形固定資産合計	79,004	68,424
投資その他の資産		
投資有価証券	1,177,544	1,065,294
敷金及び保証金	551,084	550,187
繰延税金資産	8,405	7,332
その他	131,962	133,000
投資その他の資産合計	1,868,997	1,755,814
固定資産合計	2,225,027	2,115,956
資産合計	4,390,741	4,008,695
負債の部		
流動負債		
買掛金	140,513	103,179
未払法人税等	21,703	5,816
1年内返済予定の長期借入金	138,066	196,580
その他	530,404	421,769
流動負債合計	830,687	727,345
固定負債		
繰延税金負債	26,643	44,338
長期借入金	481,934	383,366
役員退職慰労引当金	110,152	113,649
退職給付に係る負債	510,920	502,297
資産除去債務	193,190	187,812
その他	16,344	15,180
固定負債合計	1,339,185	1,246,644
負債合計	2,169,873	1,973,990

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,727,560	100,000
資本剰余金	-	2,188,805
利益剰余金	△504,514	△118,636
自己株式	△81,495	△81,495
株主資本合計	2,141,551	2,088,674
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	79,316	△53,969
その他の包括利益累計額合計	79,316	△53,969
純資産合計	2,220,867	2,034,704
負債純資産合計	4,390,741	4,008,695

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
売上高	1,474,797	1,657,263
売上原価	710,981	751,520
売上総利益	763,816	905,742
販売費及び一般管理費	977,929	981,065
営業損失(△)	△214,113	△75,322
営業外収益		
受取利息	44	43
受取配当金	27,535	26,834
受取手数料	3,923	-
助成金収入	29,423	7,558
雑収入	5,853	5,335
営業外収益合計	66,781	39,770
営業外費用		
支払利息	2,121	1,996
修理費	-	1,100
雑損失	56	-
営業外費用合計	2,177	3,096
経常損失(△)	△149,510	△38,648
特別損失		
減損損失	-	5,613
特別損失合計	-	5,613
税金等調整前四半期純損失(△)	△149,510	△44,261
法人税、住民税及び事業税	8,732	10,629
法人税等調整額	871	△2,013
法人税等合計	9,603	8,616
四半期純損失(△)	△159,114	△52,877
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△159,114	△52,877

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純損失(△)	△159,114	△52,877
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△61,468	△133,285
その他の包括利益合計	△61,468	△133,285
四半期包括利益	△220,582	△186,163
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△220,582	△186,163

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△149,510	△44,261
減価償却費	25,369	23,971
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△912	△405
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△5,269	3,497
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	10,625	△8,623
受取利息及び受取配当金	△27,580	△26,877
減損損失	-	5,613
助成金収入	△29,423	△7,558
支払利息	2,121	1,996
売上債権の増減額(△は増加)	149,254	94,146
棚卸資産の増減額(△は増加)	36,701	△17,381
仕入債務の増減額(△は減少)	△39,429	△37,334
未払金の増減額(△は減少)	△48,502	△22,572
未払消費税等の増減額(△は減少)	29,503	△65,051
未収消費税等の増減額(△は増加)	40,738	△17,155
前受金の増減額(△は減少)	△50,027	△2,106
預り金の増減額(△は減少)	△15,460	△27,422
その他	△12,830	26,435
小計	△84,634	△121,089
利息の支払額	△2,347	△1,996
利息及び配当金の受取額	27,580	26,877
法人税等の支払額	△6,934	△17,845
助成金の受取額	29,423	7,558
営業活動によるキャッシュ・フロー	△36,912	△106,495
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△33,550	△28,470
無形固定資産の取得による支出	-	△1,000
投資有価証券の取得による支出	△649	△67
敷金及び保証金の回収による収入	10,785	6,268
敷金及び保証金の差入による支出	△4,029	△372
その他	△563	△1,037
投資活動によるキャッシュ・フロー	△28,008	△24,679
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	-	△40,054
リース債務の返済による支出	△6,283	△4,801
配当金の支払額	△39	△3
財務活動によるキャッシュ・フロー	△6,323	△44,859
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△71,244	△176,033
現金及び現金同等物の期首残高	1,304,969	1,491,896
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,233,724	1,315,861

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計
	小売事業	卸売事業	受託縫製事業	
売上高				
外部顧客への売上高	857,963	361,874	252,798	1,472,637
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	538,472	538,472
計	857,963	361,874	791,270	2,011,109
セグメント損失(△)	△79,591	△45,255	△60,645	△185,491

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

	金額
報告セグメント計	△185,491
棚卸資産の調整額	△258
その他の調整額	-
全社収益(注1.)	114,655
全社費用(注2.)	△143,018
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△214,113

(注1.) 全社収益は、主に当社におけるグループ会社からの経営指導料、不動産賃貸収入等であります。

(注2.) 全社費用は、主に当社におけるグループ管理に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計
	小売事業	卸売事業	受託縫製事業	
売上高				
外部顧客への売上高	1,006,763	365,257	283,032	1,655,053
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	633,690	633,690
計	1,006,763	365,257	916,722	2,288,743
セグメント損失(△)	△19,440	△30,917	△23,338	△73,696

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

	金額
報告セグメント計	△73,696
棚卸資産の調整額	△625
その他の調整額	-
全社収益(注1.)	110,442
全社費用(注2.)	△111,443
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△75,322

(注1.) 全社収益は、主に当社におけるグループ会社からの経営指導料、不動産賃貸収入等であります。

(注2.) 全社費用は、主に当社におけるグループ管理に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。